

令和4年5月定例記者会見要旨(令和4年5月2日)

1. 市長の公約、施政方針演説の中でも、今年度はまず中心市街地、特に JR 坂出駅周辺エリアの大胆なマネジメントに着手するとあります。「高校生によるワークショップ」を開催するとのことですが、今後はこういったさまざまな意見を聴く機会を設けて、事業を進めていくということでしょうか。

本市においては、これまでの本市に対するイメージである「働くまち」から「住みたいまち」への転換を図っており、主に子育て世代の女性をターゲットとして「坂出に住みたい」、「坂出で子育てしたい」と思わせるようなまちづくりを進めることで、「まちの価値」を高めることを目指しております。

本市が抱える地域課題の解決と本市がめざすまちづくりの将来像の実現に向けて、今年度、坂出駅周辺における再整備の基本構想を策定してまいります。

基本構想の策定にあたっては、高校生のワークショップ「さかいで未来会議」を開催し、次世代を担う若い人たちの意見や発想をお聞きしたいと考えております。

また、庁内においても、本市の再生に係る基本的方向に関することなどを検討する「坂出再生庁内検討委員会」を設置し、4月20日に第1回目を開催したところであります。

当然、坂出の未来を左右する大きなプロジェクトでもありますので、さまざまなかたがたから広く意見を聴きながら進めてまいりたいと考えております。

現在、検討中ではありますが、基本構想の策定にあたり、有識者や国・県の行政機関、関係民間事業者等を委員とした外部の検討会の設置も予定しております。委員につきましては、現在調整中であります。

このような検討会等のご意見をお聞きしながら、中心市街地や特に JR 坂出駅周辺における土地の有効活用、公共施設等の機能集約の方向性について、既存の枠組みにとらわれることなく、公民連携による整備手法も含めて総合的に検討してまいります。